

## 来年度から子宮頸がんワクチンの9価ワクチンが定期接種に

11月8日に厚生労働省は2023年4月から子宮頸がんワクチンの9価ワクチンを定期接種として開始できるように準備するとしました。

子宮頸がんの原因のほぼ100%がヒトパピローマウイルス(HPV)であることが解明されています。HPVには100種類以上の型があり、主に性行為により感染し、全ての女性の約80%が生涯に一度は感染するといわれる程ありふれたウイルスです。ハイリスク型のHPVがあり、子宮頸がんの原因の50~70%が16型と18型とされています。他にも31・33・35・39・45・51・52・56・58・59・68型がハイリスク型、6・11・42・43・44型がローリスク型とされています。ガーダシル<sup>®</sup>が子宮頸がんに関連するHPVの型の約65%をカバーするのに対し、シルガード9<sup>®</sup>は約90%をカバーするとされています。

こういう方向性が出されましたが、年齢が高い程、4価ワクチンでも早く打った方がいいかもしれません(来年度から9価ワクチンに切り替えて接種できるかどうかはまだ決まっています)。

ワクチン名	国際誕生	日本での販売開始	含まれるヒトパピローマウイルスの型									標準的な接種間隔	
			16	18	6	11	31	33	45	52	58		
サーバリックス <sup>®</sup> (2価)	2007年5月	2009年12月	○	○									0、1か月後、1回目から6か月後
ガーダシル <sup>®</sup> (4価)	2006年6月	2011年8月	○	○	○	○							0、2か月後、1回目から6か月後
シルガード9 <sup>®</sup> (9価)	2014年12月	2021年2月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	0、2か月後、1回目から6か月後

※シルガード9<sup>®</sup>での定期接種がスタートしたら、現在の3回接種が標準から2回接種に減るかもしれません。

【キャッチアップ接種について】 積極的勧奨でなかった平成9年4月2日から平成18年4月1日生の方と、平成18年4月2日から平成20年4月1日生の方は令和7年(2025年)3月末までなら、定期接種として公費で接種することができます。接種当日に堺市に住民登録があれば、特段の手続きは不要で、子宮頸がんワクチン取り扱い医療機関で予約すればいいです。過去に1回あるいは2回接種したことがある方は、残りの回数を接種することができます。

【償還払いについて】 堺市在住の平成9年4月2日から平成18年4月1日生まれの方で、高校2年以上に、サーバリックス<sup>®</sup>かガーダシル<sup>®</sup>を自費で受けた方は、償還払いを申請できます(領収書があるとスムーズですが、領収書がない方は、受けた医療機関に証明書を書いてもらう方法があります)。現状、シルガード9<sup>®</sup>については対象になっていません。

【男性のHPVワクチンについて】 8月4日に行われた厚生労働省の会議で、男性にも子宮頸がんワクチンを定期接種化するかの議論が始まりました。会議資料には書いてありませんが、日本の子宮頸がん罹患率が世界ワーストレベルで拡大中であること、中咽頭がんは圧倒的に男性が多いのですが、最近になって、中年以下の中咽頭がんの原因の半分がヒトパピローマウイルスと分かっています。

出典：NHK HP『9価HPVワクチンが定期接種へ 詳しく知りたい！』2022年11月18日、堺市HP『子宮頸がん予防ワクチン(HPVワクチン)のキャッチアップ接種について』  
更新日：2022年10月3日、厚生労働省HP『HPVワクチンの男性への接種について』2022年8月4日

## 6か月から4歳の乳幼児用コロナワクチンを開始しています

特定の水曜の午後1時からの予防接種枠後に接種をしています(毎週ではありません)。お電話(072-297-7771)か受付で受付中です。

## 5歳から11歳の小児用コロナワクチンの3回目受付中

特定の土曜に接種をしています。お電話か受付でご予約ください。こちらは12歳以上とは違い、従来型のファイザーワクチンで、2・3回目の間隔は5か月以上のままです。

## 12歳以上の2価コロナワクチンは1月初旬までほぼ予約一杯です

11月24日から12月分の受付を再開していましたが、電話枠は1月初旬分までほぼ予約一杯状態です。ネット予約枠(<https://www.shujii.com/2977771/i/>)には若干空きがあります。

日本脳炎ワクチン、追加接種やⅡ期も予約受付を再開しています

大人の風しん第5期定期接種の抗体検査・予防接種、受付中



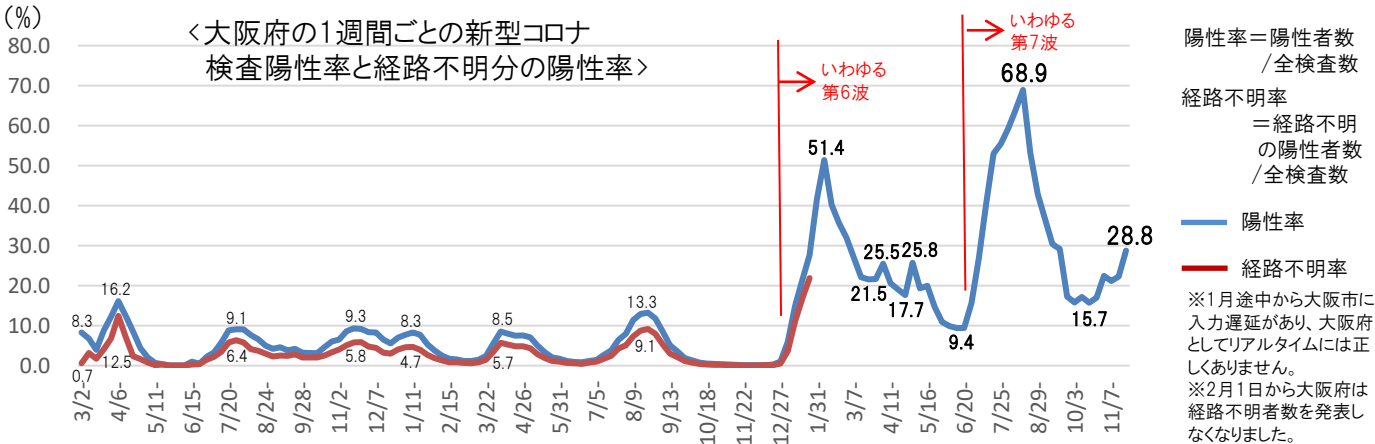
全く感冒症状のない方は、乳児検診、小児一般予防接種、新型コロナワクチン接種、高齢者の肺炎球菌ワクチン接種、気管支喘息等の慢性疾患の方の定期受診、皮膚疾患、便秘症などを指します。

## 当科のコロナ抗原検査の陽性率

検査数	陽性者数	みなし陽性者数	陽性率	
2/2~5	10	3	0	30%
2/7~12	21	10	4	56%
2/14~19	11	4	0	36%
2/21~26	5	3	0	60%
2/28~3/5	21	13	1	64%
3/7~12	14	4	3	41%
3/14~19	14	6	2	50%
3/21~26	13	6	1	50%
3/28~4/2	10	0	0	0%
4/4~9	9	1	0	11%
4/11~16	18	2	0	11%
4/18~23	14	3	0	21%
4/25~30	21	7	3	42%
5/2~7	9	1	0	11%
5/9~14	18	2	2	20%
5/16~21	10	1	2	25%
5/23~28	14	3	0	21%
5/30~6/4	8	0	0	0%
6/6~11	9	1	0	11%
6/13~18	3	0	0	0%
6/20~25	10	1	0	10%
6/27~7/2	8	1	0	13%
7/4~9	11	4	1	42%
7/11~16	31	14	0	45%
7/19~23	36	13	0	36%
7/25~30	47	13	6	36%
8/1~6	23	12	4	65%
8/8~10	15	6	3	50%
8/16~20	20	11	6	59%
8/22~27	27	8	2	34%
8/29~9/3	10	4	2	50%
9/5~10	18	3	2	25%
9/12~17	26	3	1	15%
9/20~24	7	2	1	38%
9/26~10/2	23	6	1	29%
10/3~8	17	3	0	18%
10/11~15	16	3	0	19%
10/17~22	18	4	0	22%
10/24~29	11	1	0	9%
10/31~11/6	11	0	0	0%
11/7~12	14	2	0	14%
11/14~19	10	3	0	30%
11/21~26	19	1	0	5%
計、平均	680	188	47	32%

当科での週別のコロナ抗原検査の件数と陽性者数、陽性率です。陽性率は(陽性者数+みなし陽性者数)/(抗原検査数+みなし陽性者数)で計算しています。一度10月31日から11月6日の週に0%になりましたが、また11月14日から19日が30%でした。今後悪化が予想されます。

## 大阪府のコロナ陽性率はじわりと悪化中

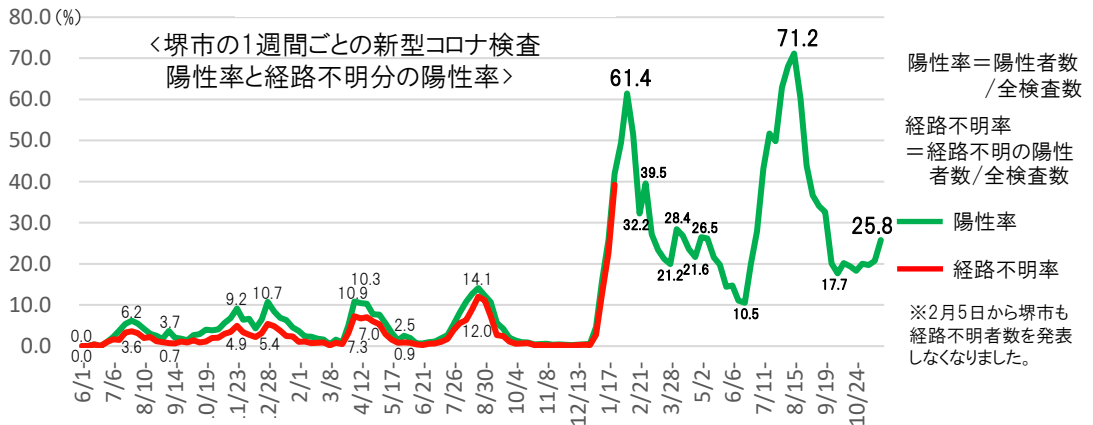


大阪府の新型コロナ検査陽性率は10月17日から23日の週に15.7%まで下がったあと、じわりと悪化しつつあり、11月21日から27日に28.8%になっています。大阪府HP『大阪府の最新感染動向 最終更新 2022/11/26』

## 堺市のコロナ陽性率もじわりと悪化中

堺市の陽性率も2022年10月3日から9日の週に17.7%まで低下し、小康状態のあと、11月21日から27日の週は25.8%までじわりと悪化してきています。

出典：堺市危機管理室 Twitter  
最終更新 2022/11/27



## 12月・担当医の変更

1・2日 赤澤→片桐

## あかざわ小児科の 年末年始について

	27日 (火)	28日 (水)	29日 (木)	30日 (金)	31日 (土)	1日 (日)	2日 (月)	3日 (火)	4日 (水)
午前診	○	○	×	×	×	×	×	×	○
夕方診	×	×	×	×	×	×	×	×	○

堺市こども急病診療センターの年末年始体制: 12月29日(木)~1月3日(火)